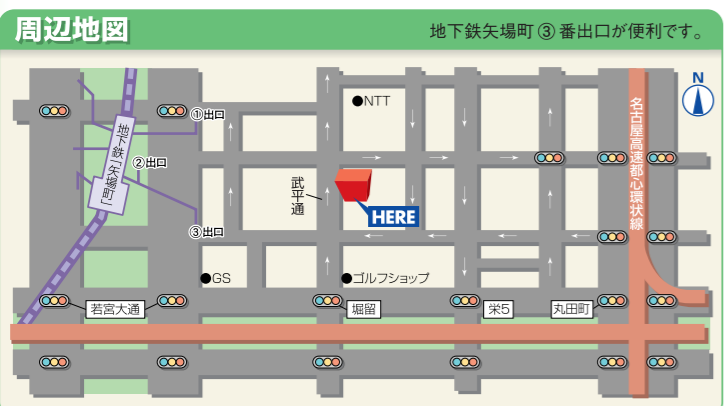


全国道路標識・標示業協会 中部支部 愛知県協会 会員名簿

正 会 員	電 話 番 号
(株) アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株) イセヤス 建材	(0532)33-3303
(株) イワフジ	(0565)43-3555
(株) オカムラ	(0567)65-6050
小田 鐵 網 (株)	(052)351-5181
(株) キクテック	(052)611-0680
(株) 京 伸	(0565)33-2141
(株) 金 原	(0532)31-4969
交通企画(株)名古屋営業所	(052)232-5830
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
山和フェンス(株)	(052)832-5411
順天工業(株)	(0565)48-4851
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
スロープガード(株)	(0564)28-0661
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
(株)ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
(株) 大 恵	(0567)65-3555
大電土木(株)	(0565)53-3883
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中部道路(株)	(052)772-6131
中部レーン工業(株)	(052)461-3464
寺部安全施設(株)	(0563)57-1800
東愛工業(株)	(0565)53-2072
(株) 東亜製作所	(052)891-1711
東亜ライン(株)	(052)624-5071
東京戸張(株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東祐工業(株)	(0565)27-6885
東陽工業(有)	(0565)26-9111
東陽テック(株)	(052)651-4531
豊 田 (株)	(052)935-5561
西尾ライン(株)	(0563)54-3481
日道工業(株)	(0569)48-1456

正 会 員	電 話 番 号
(株) 日本道路システム	(0536)23-6120
日本ハイウェイ・サービス(株)名古屋支店	(052)733-1575
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
日本リーテック(株)中部支店	(052)446-1450
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)豊田営業所	(0532)31-6230
藤安全施設(株)	(0567)95-8038
不動フェンス工業(株)	(052)852-9970
(株) 前 山	(052)841-9250
(株) みどり安全社	(0564)48-2888
美松工業(株)	(0569)29-2751
名東電気工事(株)	(052)763-2141
名阪興業(株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森工業(有)	(0565)44-0255
ラインファルト工業(株)中部営業所	(0586)51-6272

賛 助 会 員	電 話 番 号
(株)吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
グリックス愛知(株)	(0532)52-4577
(株)興和工業所土木建材事業部	(0569)29-3041
三永商事(株)	(052)232-5800
(株)三陽商会交通機材部	(0567)57-0160
篠 田 (株)	(058)245-5181
(株)篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
神鋼建材工業(株)名古屋支店	(052)205-9600
住友スリーエム(株)名古屋支店	(052)220-7258
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
日鐵住金建材(株)名古屋支店	(052)564-7228
日本ハイウェイ・マテリアル(株)	(0790)64-0551
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
JFE建材フェンス(株)名古屋支店	(052)201-3400



JCASM 全国道路標識・標示業協会
中部支部 愛知県協会

■お問合せ先
〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目19番31号
T&Mビル2階

TEL (052)241-4515
FAX (052)252-8156
E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>



あんしん道あいち 第16号
全国道路標識・標示業協会 愛知県協会
<http://www.ansinmichiaichi.jp>
TEL (052) 241-4515 / FAX (052) 252-8156 / E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]



蟹江町立新蟹江小学校への安全施設施工寄付ボランティアにて

目 次	
通学路の環境整備で子どもたちの安全を…(1)	(1)
蟹江町施工寄付ボランティア報告…(2)	(2)
平成23年度 愛知県・新城市総合防災訓練報告…(4)	(4)
平成23年度 保安器材供給NW地域別訓練報告…(5)	(5)
子どもを守るPJ全国交流会報告…(6)	(6)
子どもを守るPJコノハキッズ…(7)	(7)
交通安全運動事業報告 交通遺児寄金事業報告…(8)	(8)
通学路安全対策…(9)	(9)
(相次ぐ通学路での交通事故に対して)	
路面標示技能士検定報告…(10)	(10)
カーブミラー清掃ボランティア報告…(11)	(11)
技術研修会報告…(12)	(12)
施工管理講習会報告…(13)	(13)
平成24年度事業計画…(14)	(14)
平成24年度通常総会報告…(15)	(15)
会員名簿…(16)	(16)

通学路の環境整備で子どもたちの安全を 全国道路標識・標示業協会 愛知県協会会長 前山 達彦

平素は格段のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

相次ぐ通学路での交通事故

この4月、通学路における交通事故が全国で多発し多くの子供達の命が犠牲となりました。23日朝京都府亀岡市において登校中の児童の列に無免許運転の乗用車が突っ込み、引率していた妊婦を含む10名が死傷。27日朝には岡崎市と千葉県館山市出集団登校中の小学生の列に車が突っ込み岡崎市では児童2名が負傷し、千葉県では1人が死亡しました。子供たちの失われた未来やご家族の悲しみを思うと、もう絶対このような悲惨な事故は繰り返してはならないと思うばかりです。この一連の通学路における交通事故をみてみますと付き添いなどのソフト面の対策に加え、構造的に事故を防ぐハード面での対策の必要性を強く思います。ガードパイプは物理的に歩行者を守りますし、歩道のない道路においてはカラー標示による通行帯の明示が大変有効です。

全国に広がる「子どもを守るプロジェクト」の輪

私共全標協愛知県協会は、未来を担う子どもたちが交通事故や犯罪に巻き込まれ尊い命を亡くす事件が相

次いでいる状況を鑑み、学校周辺や通学路の安全施設の環境整備で子供たちを守ろうと平成18年から「子どもを守るプロジェクト」を開始しました。昨年は防犯少年団コノハキッズと一緒に校門前に防犯啓発シートを貼るボランティアを実施し、また蟹江町新蟹江小学校の通学路にカラー標示等の施工寄付(写真)を行うなどいたしました。このボランティア活動は全国からの共感を呼び、四国・北陸・静岡・岐阜・群馬・東京・新潟・兵庫・鹿児島など各地に大きく広がってきています。

また通学路における事故が多発していることから第9次愛知県交通安全計画においても「幹線道路の内、児童が40人以上利用する通学路で歩道が整備されていない区間については、路肩のカラー舗装や防護柵の設置などの簡易整備を含めて2013年度までに対策をほぼ完成させる」とあります。この指針に沿い、今年度も通学路の危険箇所調査や安全対策の提案などに積極的に取り組んでまいりたいと思います。

さらにカーブミラーの清掃ボランティア活動や災害対策として東海・東南海・南海運動型地震に備えた保安器材の備蓄と出動訓練を実施する計画です。

本年も社会に貢献する協会として会員一同努力してまいりますので、ご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成23年度「子どもを守ろうプロジェクト」ボランティア活動報告

子どもを守ろうプロジェクト委員会委員長 本多 徹

蟹江町立新蟹江小学校 通学路安全対策施工寄贈

子ども達の安全を守るボランティア活動

平成23年度は愛知県協会として今まで取り組んでいた「子どもを守ろうプロジェクト」を組織強化並びに活動の円滑化を考慮し新委員会を立ち上げました。

その新組織にて機動力を生かし蟹江町立新蟹江小学校に於いて通学路を中心とした大規模な施工寄贈を行いました。

まずは通学路を明示する「みどりの線」それに伴う標識板、通学路付近の路面標示の明確化及び路面貼付シート等の施工寄贈を計画、提案し施工までを地域幹事の多大なご協力の下、協会員及びプロジェクト委員にて行って参りました。

大半の施工に関しては子ども達の安全を考慮し夏休み期間を利用して行いましたが貼付シート等、子ども達の安全意識を啓発するために我々と一緒に施工をして安全を呼びかけてきました。



生徒たちと共にシートの貼付作業

子ども達を中心に

平成23年9月13日に今回の施工寄贈の贈呈式を新蟹江小学校の校庭にて行って参りました。

児童の参加者は5年生生徒全員と蟹江町長様ほか学校関係者の皆様で行いました。

子ども達から当協会長に「これからは安心して歩けます。」とお礼の言葉を頂きさらに子ども達が安心してみどりの線上を歩く姿が地元紙に掲載され我々の施工寄贈が機能を開始しました。



ご挨拶される横江淳一 蟹江町長

各地に於いて通学路に車がつっこむ悲惨な事故が続く中、完全に防護出来る物ではありませんが出来ることからという意味で当協会の行った施工で一人でも多くの子どもを守ることにさらにみどりの線を見て一人でも多くのドライバーが徐行をして悲惨な事故が未然に防ぐ事が出来ればと思います。今回の施工を振り返りました。



贈呈式の生徒たち



生徒代表からのお礼の言葉

子ども達を見守る方々達

施工寄贈を終えしばらくしたところで地域幹事を通じ朗報が入りました。

今回のボランティア活動について蟹江町長「横江淳一様」より感謝状をいただけることになり平成24年10月5日に愛知県協会長と地域幹事、一部の委員で出向いて参りました。

蟹江町長からは「安価で早く交通安全に適應できるカラー標示は今後も採用していきたい」と高い評価のお言葉を頂きました。子供たちを見守る町長様の真摯な姿を伺えることができました。私達も微力ですが、子どもたちの安全に寄与することができ嬉しく思いました。

ひろがり続ける子ども達を守る安全な提案

最後になりますが平成24年度も危険な通学路についてカラー標示を中心とした安全対策を提案し施工寄贈を行っていかうと計画をしております。

これについては前章にも書きましたが子ども達を完全に防護出来るわけではありませんが今すでに危険な通学路に早期の対策というカラー標示等を多く広め、事故抑止の一助になることとまた多くのドライバー並びに子ども達を見守る大人に「みどりの線は通学路」という意識を持って頂き一人でも多くの子ども達を守って行きたいと思えます。



明るく元気な生徒たち



みどりの線を歩く生徒たち



施工寄贈された路面シート



施工寄付されたカラー標示



施工寄付されたフェンス用標示板

非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 成田 聡

平成23年度 愛知県・新城市総合防災訓練参加報告

平成23年8月28日(日)、「ふれあいパークほうらい」をメイン会場にしまして、平成23年度愛知県・新城市総合防災訓練が行われました。この訓練は「地域防災力の向上をめざして～自らのまちは自ら守る～」をテーマに愛知県警、国土交通省をはじめ自衛隊など関係機関60団体、地域住民を含め2,000名が参加する大規模な防災訓練です。私ども愛知県協会は、倒壊した家屋に住民が立ち入ることによる二次災害を発生させないよう、セーフティコーン・コーンバーで立入禁止措置を行いました。7月に行いました地区別出動訓練の経験を活かし、迅速かつ的確に作業を行えました。



早朝の出発式の様子



消防のレスキュー隊による救助訓練の様子



愛知県警察本部による救助訓練の様子



訓練を視察される大村愛知県知事



本番さながらの緊張感



救助犬も大活躍



地元中学校の生徒たちによるバケツリレー消火作業



当協会隊員による訓練の様子



立ち入り禁止措置完了

非常災害対策プロジェクト 活動報告

非常災害対策プロジェクト委員長 成田 聡

保安機材供出ネットワーク 地区別出動訓練報告

愛知県協会のメインボランティアのひとつ「非常災害時保安機材供出ネットワーク」の地区別出動訓練を7月13日～8月3日にかけて、県下6地区で実施いたしました。この訓練は、大規模災害またはそれに順ずる災害が発生した場合に当局より要請を受けましたら、備蓄している保安機材を災害現場に運搬、設置し二次災害の発生防止に役立てることを目的とし継続的に実施をしております。東日本大震災後初めての出動訓練でしたので、参加した隊員も例年以上に気を引き締め訓練を行いました。また各所の訓練に際しましては、各建設事務所より防災または維持担当者様のご巡視・ご指導を賜りました。



一宮・海部建設事務所管内での訓練の様子



一宮・海部建設事務所管内での訓練の様子



知多建設事務所管内での訓練の様子



尾張建設事務所管内での訓練の様子



尾張建設事務所管内での訓練の様子



豊田加茂建設事務所管内での訓練の様子



東三河・新城設楽建設事務所管内での訓練の様子



東三河・新城設楽建設事務所管内での訓練の様子



知立・西三河建設事務所管内での訓練の様子

平成23年度「子どもを守ろうプロジェクト」第3回全国交流会開催報告

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

今回は群馬県から全国へ

全国交流会も3回目

数えること3回目になります「子どもを守ろうプロジェクト」全国交流会は平成23年10月23日に群馬県伊香保温泉「福一」で開催を致しました。

勿論、群馬県協会様が中心となり群馬、東京、栃木、新潟、長野、石川、静岡、三重、岐阜、兵庫、広島、愛媛、愛知の13都県協会の参加により114名の方が参加し大盛況の開催になりました。

群馬県協会様の青年部の皆様の準備及び運営によりスムーズな交流会の運営になりました。交流会事務局であります前山愛知県協会長より今回に至る経緯の説明をし全国に大きく広がっている状況を報告致しました。

次に開催県であります群馬県協会長の荻野様から「この交流会を爽やかなものとして成功させていきたい」と歓迎のご挨拶を頂きました。

本部を代表し遠藤会長様から「本日の全国交流会では各地域発表の成功事例を取り入れ、日本各地に於いて犯罪や交通事故・災害から子どもを守る輪をさらに大きく広げていきたい」とご挨拶を頂戴しました。



事務局愛知県協会前山会長の挨拶



全標協本部 遠藤会長のご挨拶

活発化する「子どもを守ろうプロジェクト」活動

全国交流会のメインであります各都県協会の活動報告でございますが年を重ねるごとに活発化している様相で、まずは群馬県から館林市の第五小学校における緑の標示・LEDソーラー照明ほか安全施設の施工寄贈の報告で始まり次に東京都協会初の世田谷区における路面標示・防護柵等の施工報告、我々愛知県については新蟹江小学校の活動、児童見守りネットワーク・KONOHAキッズへ防犯啓発シート寄贈などを報告いたしました。最後に兵庫県協会からは計画中の啓発シートの施工寄贈の発表がありこの交流会の後にを行うとのことでした。

その他ご挨拶という形で石川、新潟県協会をはじめ各県の方達が現状の活動状況を報告されました。

活発な意見があり各地の積極的な取り組みが伺えました。



会議の様子

「子どもを守ろうプロジェクト」の応援団

会議終了後「子どもを守ろうプロジェクト」の応援団的存在の松村副会長より提案内容が専門工事業としての立場を生かした取り組みになっていることや地域と一緒に地道に活動している点など評価に値するということでこうした成功事例をもとに全国に広がることを祈念しますと励ましのお言葉を頂きました。

また、総評として田邊専務理事より「交通事故防止と防犯の縦割りの壁を崩して推進して頂きたい。」と言うことと新法人としての新しい定款の上で「子どもを守ろうプロジェクト」の位置づけをしっかりと応援していきたいと述べられ本会議を閉めて頂きました。



全国から集まった仲間と記念撮影

次回開催地は兵庫県

盛会の会議の後、同ホテルにて懇親会を行いました、ここでも群馬県協会の青年部皆様のご尽力でたいへん盛り上がり懇親を深めることが出来ました。その中、中締めのご挨拶を兼ねて兵庫県協会八島会長より次年度は兵庫県で開催をし皆様をお待ちしておりますと歓迎のご挨拶で閉会となりました。次回は平成24年10月26日、兵庫県有馬温泉にての開催となります。

平成23年度「子どもを守ろうプロジェクト」ボランティア活動報告

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

KONOHAキッズへ防犯啓発シート寄贈

防犯少年団KONOHAキッズ

県の鳥でありますコノハズクをモチーフにした「防犯少年団KONOHAキッズ」、自分の身は自分で守るを合い言葉に各小学校の児童の中から一部の児童がコノハズクの紫の制服を着て学校で防犯に対する啓発を行っている活動です。

我々、愛知県協会はこの防犯少年団の応援団として防犯啓発シート寄贈を4年にわたり行って参りました。5年目の今回も愛知県下14校に地域幹事ならびに地域の協会員のご協力で貼付寄贈をすることが出来ました。

最初に名古屋市中区の御園小学校で贈呈式を行いその後各地にて贈呈式、ご挨拶をしここが重要なポイントですが児童と一緒に貼付シートを施工するという事です。

自分たちで貼り付けたシートを見て下校する生徒達は気を引き締めて下校してくれていることと思います。



コノハキッズたちの貼付作業



名古屋市立枇杷島小学校



名古屋市立御園小学校



名古屋市立広路小学校



名古屋市立白鳥小学校



名古屋市立荒子小学校



碧南市立新川小学校



蒲郡市立形原小学校

全国に広がる啓発シート

愛知県ではコノハ警部、静岡県では不審者を形取ったシートまた岐阜県では雷鳥から発した「らびい」をデザインした啓発シートなど全国的にも啓発シート寄贈が広まっております。

また、協会事務局にも啓発シートの問い合わせも多く浸透していることが伺えます。

つながるボランティア活動

別の記事でも紹介しました通学路の安全施設寄贈、また県協会全員参加の「児童生徒等見守りネットワーク」それにこの啓発シート寄贈ボランティアすべて子ども中心に繋がりのあるボランティア活動だと思います、交通安全、防犯という縦割りはあるものの一つも欠かすことの出来ないボランティア活動として今年度はのみならず今後も続けていきたいと思っております。



春日井市立松山小学校



知多市立八幡小学校



常滑市立三和小学校



知立市立知立西小学校



設楽町立津具小学校



豊川市立豊川小学校

◎ 平成23年度「KONOHAキッズ」防犯啓発シート貼付施工ボランティア 一覧表 ◎

管轄警察署名	小学校名	実施日	管轄警察署名	小学校名	実施日	管轄警察署名	小学校名	実施日
西警察署	名古屋市立枇杷島小学校	10月27日	中川警察署	名古屋市立荒子小学校	10月24日	安城警察署	知立市立知立西小学校	10月20日
中村警察署	名古屋市立ほのか小学校	10月21日	春日井警察署	春日井市立松山小学校	10月25日	設楽警察署	設楽町立津具小学校	11月7日
中警察署	名古屋市立御園小学校	10月13日	知多警察署	知多市立八幡小学校	10月25日	豊川警察署	豊川市立豊川小学校	10月27日
昭和警察署	名古屋市立広路小学校	10月26日	常滑警察署	常滑市立三和小学校	10月31日	蒲郡警察署	蒲郡市立形原小学校	10月25日
熱田警察署	名古屋市立白鳥小学校	11月2日	碧南警察署	碧南市立新川小学校	10月24日			

路面標示施工技能士検定開催報告

標示部会長 長坂 武久

路面標示施工技能士検定開催報告

開催概要

平成23年8月24日(水)阿久比スポーツ村を会場にして路面標示施工技能士検定が開催されました。愛知、岐阜、三重、静岡4県から合計67名が受験いたしました。本検定は愛知県職業能力開発協会から全標協中部支部が全面的に委託を受け運営するものであります。私たち愛知県協会はより専門性の高い技術者を世に排出することで国の社会基盤整備の一翼を担っております。



開会式の様子

職業能力開発促進法に基づいた国家検定制度

職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に基づいた国家検定制度であり、現在137職種が実施されています。路面標示施工技能士制度は、昭和61年から対象職種(単一等級)に加えられ、工事施工者の有する技能を一定の基準によって検定し、合格した者は「技能士」として厚生労働大臣から認定された称号を付与された国家資格です。



検定の様子

建設業法における国の認定

建設業法(昭和24年)法律第100号では、平成10年6月18日付建設省第1359号(現国土交通省)により、路面標示施工技能士は、下記の資格を有することになりました。いわば国土交通省が認定した国家資格といえます。



検定の様子

- 専任技術者となり得る
- 主任技術者となり得る
- 技術者資格として評価対象となっている

路面標示施工技能士の活用を

路面標示工事を専門的に施工する企業として、技術の向上と「技術者」の地位向上を図ることは、工事の適正な施工を確保するとともに、発注者に良質な建設生産物を提供することになります。技術と経営に優れた企業が成長することは、地域社会、ひいては国家発展のためにも大きな社会的貢献をすることとなります。当協会は路面標示工事に対して、能力を有する多くの路面標示技能士が所属している事業者の団体です。



検定の様子

カーブミラー及び路側標識の清掃・点検

交通安全対策事業委員長 赤松 平啓

「安全施設の保全」と「安全意識の高揚」

交通安全対策事業委員会の目的

当委員会は、交通安全対策の提案や調査研究及び交通安全施設の保全ボランティア等を通じて交通事故の抑止、会員各社の交通安全意識の向上を図ることを目的として活動しています。具体的活動として、愛知県下9建設事務所管内のカーブミラー及び路側標識の清掃点検ボランティアを実施しています。

平成23年度ボランティア実施報告書

本年度も10月3日から10月17日までの間、会員50社が参加のもと、県下9建設事務所管内においてカーブミラー及び路側標識の清掃・点検ボランティアを実施しました。各建設事務所担当者様と事前協議を行い、ご希望や指定路線を伺いながら進めました。当日は、担当幹事を中心として安全ミーティングを実施し、3、4名1組となり安全第一で作業を行いました。



路側標識の清掃ボランティア

見えやすくなったカーブミラー及び路側標識

山間部においては、カーブミラーや路側標識が樹木の枝で遮られていたり、鏡面や標識板にコケなどが付着して見えにくくなり安全に支障を生じるものがありました。それらを見えやすい状態にし、安全な視界を確保することによりカーブ地点での事故防止に少しでも役立てればという思いで作業を行いました。また、同時に支柱や取付金具の状態を点検し、倒壊や落下事故の危険性を除去、軽減を図りました。



カーブミラー清掃の様子

ボランティア活動を終えて

交通安全施設が十分に機能する状態で保全されることは交通事故防止に欠かせない条件であると考えます。しかし、過酷な自然条件の中においては行政側の努力だけでは追いつかないところもあります。そのような部分を、我々利用者が自らの手でお手伝いすることで、「安全施設の保全」と「安全意識の高揚」が得られるということはとても意義深いことであります。会員50社それぞれが安全意識の高揚を図りつつ今回のボランティア活動を無事終えることができ、参加頂いた会員各社の皆さまへ感謝申し上げるとともに、この意義深い活動をさらに高いものにしていけるように今後も努力してまいります。



カーブミラー清掃ボランティア

平成23年度 技術研修会 事業報告

開催報告

平成23年9月16日(金)、名古屋市内の会場にて、愛知県建設部道路維持課課長補佐・仙石忠広様を来賓にお招きし第5回技術研修会を開催しました。官公庁からは愛知県建設部15名を始め、名古屋市7名、その他各市町35名の御担当者の方々の御出席を賜るとともに当協会員、賛助会員83名と併せ総勢140名にて交通安全施設の専門技術について研修が行われました。

ボランティアの御紹介

子どもを守ろうプロジェクトの活動について昨年に続き今年度の事業を御紹介させて頂きました。今年3月11日の東日本大震災において甚大な被害に遭われた岩手県陸前高田市に対し、当協会が愛知県下10ヶ所に備蓄してある保安機材を全標協岩手県協会を通じて運搬、寄付を行ったボランティア事業をビデオを交えて御紹介させて頂きました。

専門部会によるプレゼンテーション

(社)全国道路標識標示業協会 愛知県協会には、標識、標示、防護柵、フェンス、遮音壁、安全施設の各部会があり、それぞれの部会がテーマに沿った形で新技術の紹介や提案、今後の課題などについてパワーポイントを交えながらプレゼンテーションが行われました。質疑応答には、多くの質問が寄せられ皆様の関心の高さが感じられました。

各部会からの研修テーマ	標識部会	・防災標識について
	標示部会	・通学路の安全対策について ・自転車走行環境整備について
	防護柵フェンス部会	・景観防護柵について ・橋梁防護柵について
	安全施設部会	・視覚障害者誘導表示の種類と設置例について

今後の活動方針

私たち愛知県協会は専門工事業団体として今後とも専門技術の研究、開発、提案などさせて頂きながら社会貢献をすることを目的とし、交通安全や安心安全な街づくりのお手伝いを通じて社会のお役にたてればと考えております。御参加を賜った方々の数が回を重ねる度に多くなっておりまして、当研修会に対する関心の大きさの表れと受け止め、今後も断続的に開催し、益々充実した研修会にしていきたいと思います。



愛知県建設部道路維持課課長補佐・仙石忠広様



研修会場の様子

愛知県建設部施工管理講習会開催報告

平成23年8月22日(月)、ウインクあいちにて愛知県建設部建設企画課より渡辺主任主査様、加藤主査様を講師にお招きし、施工管理講習会を開催いたしました。参加者は当協会の実務者72名。講習内容は以下のとおりです。

- ① 設計変更事務取扱要領(条件変更確認)の一部改正について
- ② 土木工事標準仕様書の一部改正について
- ③ 土木工事現場必携の改正について
- ④ 事故防止対策について
- ⑤ 道路工事保安設備設置基準について

今回の講習内容をしっかり理解し、今後の上質な施工管理に役立てて参りたいと思います。



愛知県建設部建設企画課渡辺博主任主査様

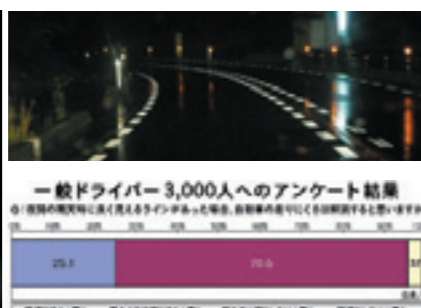


熱心な受講の様子



愛知県建設部建設企画課加藤博之主査様

3M™ 全天候型溶融式路面標示材 All Weather Thermoplastic (AWT)



「雨降りの夜でも見やすいラインを」
多くのドライバーの希望に応えるべく、3Mが生み出したサンドコアエレメント。従来の高屈折ガラスビーズとも全く異なる雨天性能(屈折率2.4)を持ち、夜間雨天時の視認性向上に貢献します。

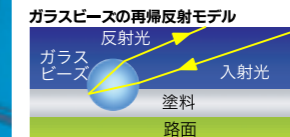
3M 住友スリーエム株式会社
交通安全システム事業部
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
<http://www.mmm.co.jp/ref/>

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-123
ナビダイヤル。市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)

路面標示塗料用ガラスビーズ

路面標示が光って見える夜間の安全走行に欠かせない機能です。
ハッキリと見えるその理由は“光の再帰反射特性”

車の夜間走行において、路面の塗料に埋め込まれたガラスビーズにヘッドライトの光が入ると、その光はドライバーへと効率よく戻ってきます。そのため、路面標示が発光しているかのように鮮明に見えるのです。



- 製品の御案内
- JIS規格ビーズ：JIS規格に適合した信頼性の高い汎用タイプ
 - 高屈折ビーズ：高屈折率のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - ビジビーズ：大粒径のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - 反射輝度測定器：路面標示の夜間視認性を評価するための光学測定器
- ※ JIS規格ビーズは、国内リサイクルガラスを100%使用しています。

車社会にガラスビーズで貢献する
ポッターズ・パロティーニ株式会社
本社：茨城県つくば市下河原崎 254-36
TEL:029-847-7483 FAX:029-847-0216
営業グループ：大阪府大阪市北区末広町3-21
TEL:06-4709-7381 FAX:06-4709-7382
<http://www.pqj.co.jp>
E-Mail: info@pqj.co.jp

平成24年度事業計画

総務委員長 野村 義彦

平成24年度事業計画

昨年の愛知県の交通情勢は残念ながら前年対比28人多い225人もの多くの命が失われ、再び交通事故死者数全国ワースト1位となりました。交通事故の特徴として高齢者の交通死亡事故が50.7%と半数を超え、また歩行者の事故が多発・増加しています。また急増する自転車・二輪車事故に対する対策も含め、高齢者と子どもを守る対策が急務の課題とされています。

昨年は5年間の第9次愛知県交通安全計画がスタートし、特に通学路におけるカラー標示や防護柵などの安全対策を推進するとされています。悲惨な交通事故を防止するためには「人優先」の考え方や交通ルールを守ることが重要ですが、さらに事故を抑止するインフラ整備も大変重要な要素であります。平成24年度も会員の総力を挙げて、交通安全県民運動に積極的に取り組むとともに、交通安全施設の整備を通し交通安全に貢献してまいりたいと思います。

更に「子どもを守ろうプロジェクト」においては昨年第3回全国交流会を群馬県で開催し、愛知県から呼びかけた犯罪や交通事故、災害から子どもを守る運動が名実ともに全国に大きく展開されており、本年も防犯少年団「KONOHAキッズ」への支援を継続するとともに、愛知県「児童生徒等見守りネットワーク」へ参加し、未来を担う子供たちの安全確保に寄与してまいります。

災害対策として、昨年6月に東日本大震災の被災地である陸前高田市へ当協会の備蓄保安機材を寄付するボランティアを実施しましたが、岩手県協会との災害共同プロジェクトを継続するとともに、当地において予想される東海・東南海・南海連動型大地震に備え、本年度も「非常災害時保安機材供給ネットワーク」の体制を整え地域防災訓練を実施します。また豊田市で開催される愛知県総合防災訓練にも参加してまいりたいと存じます。

また本部の新法人移行に対応し、本年は愛知県協会の今後の在り方を検討してまいりたいと存じます。

●●● 社会に貢献する協会として主に以下の活動を展開してまいります ●●●

1 交通安全の推進に貢献

交通安全施設の専門工事業者団体として、平成24年度も引き続き安全技術の研究普及・危険箇所の調査・交通事故低減への提案など総力で行うと共に、交通安全県民運動に積極的に参加し県下の交通安全の推進に貢献してまいります。

2 「子どもを守ろうプロジェクト」の事業継続実施

- 1) 各自治体への子どもを守る安全施設の普及をめざしPR活動を行ないます。
- 2) 愛知県警察本部が設置した防犯少年団「KONOHAキッズ」への協力を行い、子どもたちの防犯活動を支援します。
- 3) 市町村モデル校へカラー標示等の通学路安全施設を設置するボランティアを実施します。
- 4) 「子どもを守ろうプロジェクト」本部全国展開推進に協力するとともに、全国各県協会と連携し同プロジェクトの全国展開を推進します。
- 5) 愛知県教育委員会の「児童生徒等見守りネットワーク」に参加し、児童生徒の安全確保に協力します。

3 非常災害時の体制整備

- 1) 「非常災害時保安機材供給ネットワーク」の地区別出動班による地域ごとの訓練を実施し、非常災害時の出動に備え体制を整えます。
- 2) 愛知県総合防災訓練へ参加し、関係機関とともに地域防災に貢献します。
- 3) 愛知県建設部の備蓄する災害用保安機材の被災場所への設置協力を致します。
- 4) 緊急輸送道路の整備への提案、協力を行ないます。

4 その他の公益活動の継続実施

平成8年から実施してきた交通安全対策事業や交通遺児基金事業などの継続実施(17年目)を致します。

平成24年度通常総会開催報告

総務委員長 野村 義彦

平成24年度通常総会開催報告

▶ 多角的な公益活動で社会から信頼される協会へ

平成24年5月11日、全国道路標識・標示業協会中部支部 愛知県協会通常総会がサイプレスガーデンホテルにて開催されました。前山会長からは、全国的に交通事故が多発しており愛知県では全国交通事故死者数ワーストワンの不名誉な記録を樹立しました。また最近では通学路での大きな事故が発生しており今後このような事故がなくなるよう「子どもを守ろうプロジェクト」を通じて社会貢献活動を行ない、社会から信頼される専門業者団体として活動に邁進してゆくなどの挨拶がありました。



前山会長の挨拶

▶ 総会におきましては、ご来賓の方々より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

ご来賓…愛知県警察本部 交通部交通規制課	課長 安藤 定一様
	課長補佐 飯田 武彦様



ご来賓:愛知県警察本部交通規制課課長・安藤 定一様

ご来賓…愛知県 建設部 道路維持課	課長補佐 川村 悦司様
-------------------	-------------



ご来賓:愛知県建設部道路維持課課長補佐・川村 悦司様

ご来賓…愛知県 議会 議員 (当協会顧問)	寺西 睦様
-----------------------	-------



ご来賓:愛知県議会議員(当協会顧問)寺西 睦様

▶ 出席社数

本総会は会員総数50社のうち43社の出席(委任状7社)をもって成立いたしました。

▶ 議事内容

- ・ 第1号議案 平成23年度事業報告の承認を求める件
- ・ 第2号議案 平成23年度収支決算報告の承認を求める件
- ・ 第3号議案 平成24年度事業計画案の承認を求める件
- ・ 第4号議案 平成24年度予算案の承認を求める件

SANYO **人と人、人と街** 私たち三陽商会は、交通機材を通して「結びつく」をお手伝いします。

取り扱い製品
 路側柱・カーブミラー柱・大型案内標識・信号柱
 各種金具・防音パネル・遮音壁支柱・鋼管杭
 エポキシ樹脂塗装鉄筋・セキュリティ製品

三陽商会
 本社 東京都中央区日本橋1-13-1 日鐵日本橋ビル4F TEL (03) 3281-2212 FAX (03) 3281-6632
 交通機材部 愛知県海部郡飛島村梅之郷東割149 TEL (0567) 57-0160 FAX (0567) 57-0161
 U R L http://www.sanyoshokai.co.jp

三永商事株式会社

本社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目15番20号 三永伏見ビル9F
 TEL:052-232-5808 FAX:052-232-5838

営業所 ▶ 札幌 盛岡 仙台 東京 新潟 金沢 名古屋 大阪 広島 福岡

創業 ▶ 1976年(昭和51年) 資本金 ▶ 8,000万円

取扱商品 ▶ 道路資材等全般 事業内容 ▶ 道路資材の卸売

三永商事株式会社は創業以来、道路交通環境の整備と業界の発展のため、お客様と仕入先様との信頼関係を基礎に、多くの方々に支えられて全国に10ヶ所の営業所を有することが出来ました。標識・標示・安全用品・防護柵等様々な商品、流通の分野におきまして、お客様のご要望を満たす機能を強化するとともに、時代を先取りした事業展開により業界の発展に貢献して参ります。今後も社員一丸となり頑張って参りますので、何卒、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。